レッスン：PYR No.13

テーマ：現在のパーソナリティーと像

PYR No.13 KE04/10/No.2

私の姉妹・兄弟たち、

スプリット、光、火の子供たちよ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

　前回のレッスンでは､現在のパーソナリティーがいかにしてサイクルによって提供されている様々な法則にアプローチするかについて話しました。勿論、そのサイクルもまたより大きな法則です。何を考えるにせよ、創造界は何であれ存在するもの、実在するものと関係しています；これらすべての背後には不動の諸法則があります。肉体ですら存在し､実在するのは法則によります。そして勿論その法則とは創造の元型です。なぜなら人間の身体は元型に従って築かれているからです。

　さて、潜在的可能性のサイクルにおける一つの法則は2番目のサイクルであり、それはまだ地のエレメントのなかにあります。この法則は前に述べたように四面ピラミッドであり、それは4つのエレメント、プラス何かを意味しています。

　この何かとは何でしょうか？多くのレッスンで四面ピラミッドの4つめのサイドはウリエルの監督下にあると言いました。ウリエルは他の3つのエレメントのコーディネーターです。地のエレメントである4番目のエレメントは、あるエレメンタルの監督下にあり、それらのエレメンタルとはいわゆるサマエルと呼ばれているものです。

　さて純白のサイドはウリエルだけを意味しているのでしょうか？それはウリエルの監督下にありますが、そこには他のものもあります。過去に、このサイドには像(idol)を見いだすと言いました。そしてそのリアリティーへのアプローチに関するエクササイズを行いました。

　さて、この像とは何でしょうか？そのフォームとは何でしょうか？それは人間の体のフォームにとても近いものです。そのフォームとは人間のイデアフォームです。それは影を生み出したものに影が同化されるとき、現在のパーソナリティーが持つようになる体です。実際、現在のパーソナリティーとしての影を生み出したのはその体なのです。ですから、このサイドでウリエルのオーダーを見いだしますが、同時に私たちのインナーセルフを見いだします。インナーセルフは現在のパーソナリティーを活性化します。

　さて、このサイクルにいる間に現在のパーソナリティーがそのリアリティーをどれだけ現わすかは三面および四面ピラミッドによります。ですから、現在のパーソナリティーの実際のワークは法則としてのこれら２つの助けに関係します。

　最後のレッスンで述べたように、三面ピラミッドは絶対存在、Lifeそれ自体の本質を意味します。本質から見れば、それは創造の諸世界において何であれLifeが表現するものと違いはありません。現在のパーソナリティーを活性化するスパークですら絶対存在、Lifeそれ自体と同じ本質を有しています。

　ですから実際、それが三次元の諸世界において三面ピラミッドが意味しているものです。アウタルキーのステートにある絶対存在について述べるなら、ピラミッドとしての三角形には触れないでしょう。存在の諸世界ではなく、実存の諸世界における三次元のシンボルとしてピラミッドについて述べているのです。存在の諸世界には３次元はなく２次元のシンボルだけがあります。

Page2

 存在の諸世界には次元がなく、空間さらに時間の意味もありません。全ては全てのなかにあります。

　ですから、より大きな法則のなかにこれら様々な法則があり、それは潜在的可能性のサイクルです。しかし、これら全てのサイクルは現在のパーソナリティーのより大きなサイクルのなかにあります。現在のパーソナリティーのこの大きなサイクルはより大きな一つの法則のなかにあります。つまり創造の元型のなかにあります。勿論それら全ては過去のレッスンで述べました。

　さて、現在のパーソナリティーの努力とはそのイメージ、または四面ピラミッドの純白のサイドにあるそのイメージ、つまり体または像に到達することです。それがどれだけ達成されるかは、その人がどのようにしてそれらのエクササイズで与えられた最初の鍵を使うかによります。つまり、あなたの意識を肉体から正面にある体に転送するエクササイズです。

　努力なしに、そしてエクササイズを行わないでこれを達成することが可能でしょうか？答えはノーです。それはエゴの様々な側面の影響を受けることなしに、離れたところから自分の現在のパーソナリティーを非常に注意深く学ぶことによって達成されます。

　あなたはまた自分の気づきの本当のレベルを認識すべきです；そのようにして行われます。あなたは自分自身を距離をおいて学ぶことができますか？；どう思いますか？勿論、できます。それはLifeの主な特質の一つである多重性です。今の所、あなたはこれを２つの場所から行います。あなたは肉体における思考・行動の仕方を背後にして、しかし同時にあなたのなかにあるLifeのスパークの体のなかにいます。なぜならば、そのスパークには体があるからです。

　創造の諸世界におけるLifeのいかなる表現も体があります。そしてそのLifeの表現、現れがLifeの本質を完全に現わすためには、人間のイデアフォームという元型を持つ必要があります。そしてこのフォームは私達のなかにあります。そしてそれが四面ピラミッドの純白のサイドに見いだされると言う時、それは私たちから離れた所にあるわけではありません。シンボルとしてそれらの法則について述べる時、それらは私達の内側にあり、また同時に私たちはそれらの中にあるのです。

　もしLifeのスパークが正面のサイドに見いだすことができるなら、そこでは他に何を見いだすことができるでしょうか？覚えているかもしれませんが、現れとしての現在のパーソナリティーは二元性の現れ以外の何ものでもないと言いました。それはつまり、私たちには２つの小さなエゴがあるということです。

　初めはその２つが一つになっています。そして徐々にゆっくりと経験を経ることによってそれらが分離します。そして影を生み出したものに移動していくエゴには、影を生み出したスパークがあります。ですから、そのスパークを有する小さなエゴを正面のサイドに見いだすことができるのです。

　さて、なぜそれら全てのシンボル、それら全ての法則が私たちの内側にあるのでしょうか；なぜ四面ピラミッドなのでしょうか？4つのエレメントを意味する四面ピラミッドは私達の中にあります、なぜなら肉体は4つのエレメントからできているからです。私たちの現れは何であれ三面および五面ピラミッドによって表現されるものの結果です。現在のパーソナリティーはどれだけ影としての五感を、そして真の感覚をどれだけ使用することができるかは五面ピラミッドによります。そうです、それらは私たちの内側、現在のパーソナリティーの内側にあります。

　ですからそれらすべての法則、助けは私から離れたところにあるのではありません。三次元のそれらのシンボルに存在を与える、状態を与えるというとき、実際にはそれらは既に内側にあるのです、そして同時に私たちはそれらの内側にいるのです。

Page3

　勿論前のレッスンで述べたように、それらの法則のひとつは3番目のサイクルで完了します。

　さて、その法則はその次のサイクル、つまり4番目のサイクルでも留まります。それをマスターしたからといって、五面ピラミッドがそこに存在しないということではありません；さもないと現在のパーソナリティーは5つの真の感覚を超意識的に使用できないことになります。法則はそこにあります。しかし、今やその法則は４番目のサイクルにいる現在のパーソナリティーがそれを完全に使用しているのです。

　４番目のサイクルにあるもう一つのシンボルは六芒星です。六面ピラミッドではありません。六面ピラミッドはありません、なぜならそれを使う人は自己実現した人なので六芒星を意味するいかなる法則の助けをも必要としないからです。六芒星はキリスト意識を意味し、それは自己実現と同じです。

Ｑ：人間のイデアフォームは正面の純白のサイドのスパークを含んでいる体とは違うのですか？

Ｋ：同じです。そしてそのサイドは同時に私たちの内側にあるのです。「正面を見なさい」あるいは「右に90度回転し、別のサイドにフォーカスしてください」などこれら全てのプロセスはあなたの内側にあります。

Ｑ：あなたは2つの別々のエゴがあり、まだ影のなかにあるエゴが像の方に行こうとする、と言いました。

Ｋ：現在のパーソナリティーは自分が立っているところから、その中にLifeのスパークがある像に意識を送ることができるべきだと述べた時、それは距離を移動することを意味するのではありません。なぜなら四面ピラミッドは私たちの内側にあるからです。

　現在のパーソナリティーを2つの小さなエゴに分けるという時、それはどういう意味でしょうか？実際、現在のパーソナリティーは２つの小さなエゴのなかにいますが、そのエゴ、もう一つのエゴを、エゴイズムからの邪魔なしに観察できる能力を持つべきです。それは簡単なことではありません。

　自己実現すると、影としての現在のパーソナリティーはその影を生み出したもの…それはLifeですが…の中に完全に同化します。それは私たちの内側にあるスパークであり、そのスパークはLifeの海、キリストロゴスまたはイエスキリスト・ロゴスです。イエスキリスト・ロゴスは天上人であり；元型としての人間のイデアフォームを提供するのはイエスキリスト・ロゴスです。同化したとき、意識は完全にその本質を表現しています。

　自己実現した現在のパーソナリティーは決して転生のサイクルを去ることはありません。その現在のパーソナリティーは実在することができ、それを自己実現した現在のパーソナリティーと呼ぶことができます。その自己実現のステートでは現在のパーソナリティーはありませんが、そこには「永遠のパーソナリティー」の現れがあり、だからといって現在のパーソナリティーの現れが停止したということではありません。自己実現のステートにいる間、現在のパーソナリティーはまだ前のステートに留まり、自己実現したセルフはその波動を下げて引き続き現在のパーソナリティーを活性化しておきます；その結果、実存の諸世界にその現れがある自己実現した現在のパーソナリティーがあるのです。

　現在のパーソナリティーは引き続きこの世界（＊私たちがいる世界）にいます。自己実現の他のステートに何が入ろうとも、それはそのステートに留まることを意味しません。超意識的に現れのレベルを下げることができ、他の人間とコミュニケーションすることができます。しかし、同時にそのパーソナリティーは再び気づきのレベルを上げて不可視のヘルパーとして働くこともできるのです。

　自己実現した現在のパーソナリティーは完全に神のブレーシス（＊意志）を現わしており、多重性としてのLifeの特質を完全に現わしています。しかし同時に、自己実現した現在のパーソナリティーは、この実存の世界にいる他の人間とまったく同じように、結果を蒙ることもできるのです；さもないと他人の結果を背負うことが出来なくなります。なぜならばこれが磔の意味することだからです。他人のために磔にされることです。そして磔（はりつけ）とはバランスの機械をそのバランスの取れた状態にすることです。原因・結果の法則です。

　自己実現した現在のパーソナリティーという時、実際に十字架に掛けられるために彼らの身体が使われるのです。誰が十字架に掛けられるのでしょうか？主です。主が創造界における全ての人間の大きな十字架を運んでいるのです。それではその大きな十字架はどのようにして作られるのでしょうか？それは無数の小さな十字架によって築かれます。どんな人間も主の十字架を運ぶことはできません。彼が世界の十字架を背負うのです、そして世界と言う時、それは全創造界を意味します。

Q：2番目のサイクルにいる現在のパーソナリティーが小さな14芒星と五芒星を完了するとき、それはその人がサイコノエティカル界に移行することを意味するのですか？

Ｋ：彼らがサイコノエティカル界に移行しなければならない、ということを意味しません。彼らはこの波動の世界（＊この世界）をマスターするかもしれません。彼らはそのサイクルをマスターし、しばらく後にサイコノエティカル界に移行するかもしれません。

　小さな14芒星と五芒星はある特定の転生のためのものであり、サイクルのためのものではありません。各転生毎に私たちには別々の小さな14芒星と五芒星があります。大きなものは転生を通じて同じですが、小さなものは違います。

レッスン PYR 13/エクササイズNo.1

目を閉じて静かに座ります…心を騒がせるもの全てを解き放ちます…真っ白な自分自身を見、そして自分の境界を感じます、同時にあなたは純白の五芒星の中にいて守られています…

　四面ピラミッドに存在を与え…あなたは正面の純白のサイドに面しています…右には赤のサイドが、後ろにはホワイトブルーのサイドが、そして左にはウルトラバイオレットのサイドがあります…このピラミッドの4つのサイドから4つの光の輝きがきています…

　それでは正面の純白のサイドにフォーカスします…他のことは何も考えないで、ただ正面の純白のサイドにフォーカスします…

　徐々にあなたは正面に人間の身体のイメージを見るようになります…しかし、細かなところまでは見えません…影ではありませんが、像のようにみえます…その形、身体の輝きは純白のサイドよりもずっと強力です。とても輝いている純白のフォーム、像であり、その白いサイドよりもずっと明るく輝いています…細かな点は何も見えませんが、それはとても美しく輝いています

…それでは右に90度回転すると、正面に赤のサイドが見えます…その赤にフォーカスします…

　すると徐々に前と同じフォーム、像が赤のサイドにも見えます、勿論体の色は違いますが…それは非常に輝いている赤ですが、形は前とまったく同じです…

　それではまた90度回転します…そして今四面ピラミッドのホワイトブルーのサイドが正面にあります。その方向にフォーカスし、その色の輝きにフォーカスします…そして徐々にそこに前の２つと同じ形、フォームの像が見えてきます…像の色はホワイトブルーですが、サイドの色よりもずっと輝いています…

　それでは左に180度回転します、今純白のサイドに面しています…

　左にさらに90度回転します…今ウルトラバイオレットのサイドが正面にあります。そのサイドのウルトラバイオレットの輝きに集中します…

　徐々にその輝きのなかに前の３つとまったく同一の形、像が見えてきます…形は同じですが色はウルトラバイオレットで、その輝きは同じ色のサイドよりもずっと輝いています…

　それでは90度右に回転します…四面ピラミッドの純白のサイドのなかに純白のフォーム、像が輝いているのが見えます…

　今、方向を変えなくても同時に4つの同一の形の像が見えます…右や左、後ろに回転する必要はありません…見る方向を変えなくても4つの像が同時に見えます、純白の像、赤い像、ホワイトブルーの像、そしてウルトラバイオレットの像です…つまり、あなたは向きを変えなくても全ての方向を見ることができるのです…

　それでは三面ピラミッドに存在を与えます、今まで見ていたものはそこにあり、そこに三面ピラミッドを加えます…あなたは今同時に三面ピラミッドのなかにいます、そして同時に三面ピラミッドの3つのサイドの色の輝きを見ることができ、同時に四面ピラミッドの4つの輝きとその4つのサイドの輝きの中にあるフォーム、像も見えます…

　三面ピラミッドの正面の角の右側のサイドはホワイトピンク、左のサイドはホワイトブルー、そして背後のサイドの色は金色です…これら三面ピラミッドの色の輝きです…

　それでは同時に五面ピラミッドに存在を与えます…そして今同じ色に輝いている5つのサイドが見えます。底面に近いところは鈍い白で、上に行くに従って白の色はどんどんより輝いており、頂上では銀色のようになります。

　ですから、あなたは五面ピラミッドの色、三面ピラミッドの色、四面ピラミッドの色を見ており、また四面ピラミッドのサイドの色のなかに、それぞれ同一の４つのフォーム、像が見えます…それは勿論、Lifeがその本質を完全に現わしている時の諸体を意味しています。

あなたの内側にあるこのリアリティーにアプローチできることを願います。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。終わります。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

なぜ四面ピラミッドの全てのサイドに純白の体と同一の体があるのでしょうか？なぜならアークエンジェルはLifeの本質を完全に現しているからであり、彼らはLifeそれ自体の身体を使っているからです。そして勿論、自己実現した現在のパーソナリティーはこの体を使うのです。唯一の違いは、アークエンジェルから放射されている輝きであり、それらの色は創造界におけるプログラムされたセルフエピグノシスとして果たすべく「割り当てられている」仕事を意味しています。

　これらのエクササイズは非常に重要です。そして前に述べたように、これらの法則、これらの助けは私たちの内側にあるのです。私たちがそれらを築くと言う時、実際それらは既に存在しているのです。それはあるかないかの問題ではなく、それらは法則として私たちの内側に「ある」のです。

Q：3つのアークエンジェルの特定の仕事とは何ですか？

Page6

K：ガブリエルは水のエレメントを司っており、私たちの背後のホワイトブルーのサイドを担当しています。彼は…もしそれが開いていれば…アベニュー（＊大通り）へと通じるドアーを司っています。そのアベニューとは勿論主のアベニューです。

　ミカエルは火のエレメントを司っており、ラファエルは空気・エーテルのエレメントを司っています。そしてサマエルはルシファーのエレメンタルであり、土のエレメントを司どっています。

　さて、３つ、あるいは4つのアークエンジェルから現在のパーソナリティーに与えられているものを分けることはできません。彼らは皆それぞれの役目があります。その中の一つが欠けても、現在のパーソナリティーはこの現れの世界（＊この物質界）に実在することは不可能になります。今、現在のパーソナリティーというとき、肉体を使用している現在のパーソナリティーを意味しています。なぜなら、主にそれが彼らの役割であり、彼らは現れのこのステート（＊物質界）のなかで働いているからです。現在のパーソナリティーは創造物ではありません；それは創造されたものではなく、誕生したものです。

　人間に関して「誕生した」と言う時、何か創造されたものを意味していません。肉体は創造されたものですが、しかし現在のパーソナリティーは誕生し、現わされるものです。それが実際に現在のパーソナリティーなのです。アークエンジェルたちの仕事、それは何であれ創造されるものに関係しています。

　そうです、アークエンジェル達にはかれらの役目があります；しかし何であれ彼らが提供しているものを分析してもなんの助けにもなりません。真剣なワークは実際今まさにあなた方に与えられています。無知のなかに取り込まれている、そしてどのようにしてパーソナリティーがそれらの無知の境界から自由になるか等、何であれ過去に言われたことは勉強という目的のためです。しかし、真のワークは今与えられているものを行うことです。それは（＊過去に与えられた知識のこと）理論なのです。

　今私たちがやっていることに関して質問がありますか？何であれ私たちが今やっていること、それはゲームではありません。特にエクササイズを行っている時、エクササイズはゲームではありません。それはこの特定の潜在的可能性のサイクルのなかで達成すべきことを達成するための真のワークです。そしてこのサイクルの中での主となるワークは、現在のパーソナリティーが地のエレメントから自由になるために達成しなければならないだけでなく、部屋から出るための適切な方向を達成するために必要なのです。なぜなら、前のレッスンで覚えているかもしれませんが、何であれ今パーソナリティーが上向きだとみなしているものは実際には下向きであると私たちは言いました。

　ですから、このサイクルにおいて現在のパーソナリティーにとって非常に重要なことは、現在のパーソナリティーが180度回転することであり、それによってそのパーソナリティーは何が正しくて何が間違っているかを知ることでしょう。つまり、気づきを上昇させるための適切な努力であり、毎日の生活における行動として何が正しいかなのではありません；より高いレベルのサイコノエティカルな成長を達成するためには何をするのが適切であるか、ということです。

　2番目のサイクルにいる間、パーソナリティーは飢えのためにあれ、これを理解し、把握しようとします。しかし、その人は何に真の価値があるのかを認識することができないのです。現在のパーソナリティーが三番目のサイクルに自分を見いだす時には、すべてはもっとはっきりとクリヤーにわかることでしょう。

EREVNA PYR13 KE04/10/02